

<504> 技術分野での「題材」のエッセンスは？

技術分野では、資料1に示すよう、作品などを含む指導内容を指導単位でまとめて組織したものを「題材」とするのがエッセンスになります。技術分野の学習指導要領上で示されている「題材」については、資料1に示してありますので、ご覧下さい。なお、「題材」の名称は、資料2に示すように教科書により異なります。

資料1：「題材」と「教材」の違いについて

技術分野の題材	<p style="text-align: center;">課題を解決するまとめ</p> <p>「A 材料と加工の技術」の例として、次の○で示す一連の内容を指導単位のまとめとし、製作活動で具体物である作品を生むのが「題材」となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○材料の内容、性質、加工の仕方の内容 ○課題を解決するために必要な設計図をかく内容 ○設計図に従い加工する道具・工具・機械の種類や使い方の内容 ○生活での加工する技術の使い方の内容 <p>課題を解決するための作品づくりに用いる本来の「題材」は、課題を解決するために必要なさまざまな技術を組み合わせて扱うものなので、「内容A～Dごとの技術」という単位にはなりません。</p> <p>しかし、中学校で初めて技術分野を学ぶ生徒にも分かりやすくするため、学習指導では便宜的に「内容A～Dの技術」という単位で技術を整理して扱っています。</p>
単元	<p style="text-align: center;">教科内容のまとめ</p> <p>木材の性質の内容だけを学ぶのであれば「単元」となるが、技術分野では、生活上の課題の解決のため、互いの内容同士を関連させて扱うので、「単元」とはならないのです。</p>
他教科の題材	<p style="text-align: center;">教科内容のまとめ</p> <p>技術・家庭科以外の教科では、「単元」とは、学習活動の一連の学ぶ内容の有機的な「まとめ（ひとかたまり）」という意味としている。</p> <p>国語、美術では、一連の学習内容のまとまりを「題材」としている。</p>

資料2：教科書による「題材」の名称について

教育図書	開隆堂	東京書籍
題材例	実習例	問題解決例

参考資料1：技術分野の「題材」（「平成29年告示の学習指導要領」解説 技術・家庭編 P124）

学習指導要領（平成29年告示）解説 技術・家庭編で、「題材」を次のように示しています。

（4）題材の設定 技術・家庭科における題材とは、教科の目標及び各分野の目標の実現を目指して、各項目に示される指導内容を指導単位にまとめて組織したものである。したがって、題材の設定に当たっては、各項目及び各項目に示す事項との関連を見極め、相互に有機的な関連を図り、系統的及び総合的に学習が展開されるよう配慮することが重要である。

技術分野においては、例えば、「Cエネルギー変換の技術」の（2）生活や社会における問題をエネルギー変換の技術によって解決する活動を履修する場合、「A材料と加工の技術」の（2）生活や社会における問題を材料と加工の技術によって解決する活動や「D情報の技術」の（3）生活や社会における問題を計測・制御のプログラムによって解決する活動との関連を図り、題材を設定することが考えられる。

家庭分野については、省略します。